

京都サマープログラム2017

チャン・トゥイ・アン
ハノイ国家大学外国語大学・3年

私は日本語の勉強を始めてから約3年が経ち、もうすぐ4年生になります。京都大学が日本全国で2位の、有名な大学だと知っていたので、京都サマープログラム2017で京都大学に受け入れてもらうことができ、本当にうれしいです。短い2週間でしたが、いろいろな体験ができました。

当初の「2週間の旅行かな」という予想に反し、授業でいっぱいでした。しかし、授業は有意義だったと思います。白方先生が担当する日本語Ⅲのクラスに参加することになり、京都に関する作品や川端康成の「古都」という小説を読む機会がありました。古都の京都がさらに好きになりました。古い町並から名所まで、どことも違う静かなわびさびの美が感じられます。京都に対する作家の感性も深く感じられました。また、授業の中で中国人の学生たちと議論し、中国と日本に関してこれまで知らなかったことをいろいろと教えてもらいました。優秀な中国人の友達と足並みをそろえられるように必死に頑張らないといけないと考えています。また、各学部の英語での授業を聴講することができて、民主主義、農業、俳句などについて理解が深まりました。

京都サマープログラムの参加者はいろいろな国から来ていたので、異文化交流が何よりも楽しかったです。ほかの国の学生と友達になってもすぐに別れがおとずれました。しかし、将来いつかどこかで再会して助け合うかもしれないと感じています。共同発表では、グループを分ける時に別々の国から来た一人一人が集まって日本語で理解し合えるよう努力しました。共同発表においても多文化に関することを楽しく学ぶことができました。

今回のプログラムは、稲垣先生と京大生たちのサポートをぬきにしては成功し得なかったと思っています。心から感謝しています。京大生たちは熱心にいろいろな名所へつれて行ってってくれ、疲れが残っていながらも、そして自分の家も遠いけれども、留学生の私たちを旅館まで送りどけてくれました。何度「ありがとうございます！」といっても足りないと思います。

この2週間は忘れられない思い出になりました。これからも勉学に励み、ぜひ京都に戻りたいです。最後となりますが、改めて誠にありがとうございました。